

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース		学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	現代の国語	2	2	長谷川 忍			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編現代の国語		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑫⑥⑤④②⑪	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	2 時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標							
言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。							
①評論文を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。							
②筆者の体験や考えをもとに、社会との関わり方や次代を担う自分たちの役割について考える。							
③手紙、メールの書き方や原稿用紙の正しい使い方を学習し、実践によって理解を深める。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	5	手紙・メールの書き方	1	⑫	5月18日		
5	6	真の自立とは	2	⑥	6月15日		
6							
7	5	りんごのほっぺ	3	⑤	7月13日		
9		前期試験対策					
10	7	鍋洗いの日々	4	④	11月9日		
11							
12	4	未来をつくる想像力	5	②	12月14日		
1	3	原稿用紙の使い方	6	⑪	2月1日		
2	2	後期試験対策					
3	3	一年のまとめ					

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース		学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
国語	言語文化	2	2	長谷川 忍			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新編言語文化		東京書籍		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑧⑭⑥②⑨④	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	2 時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標							
言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。 ①会話、行動の描写、表現に注意しながら、登場人物の心情とその変化を読み取り、小説に親しむ。 ②短歌や詩の形式、表現技法を理解し、深く読み味わう力を養うとともに、実際に短歌を詠む。 ③古文の説話のおもしろさを味わい、論語の孔子の考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考	
			回数	選択 番号	提出日			
4	3	古文の基礎	1	⑧	5月11日	↑ ↓		
5		5	訓読の基本・故事「守株」	2	⑭			6月8日
6		6	羅生門	3	⑥			7月13日
7								
9	6	前期試験対策	4	②	10月26日			
10		柳あをめる【短歌】						
11	6	宇治拾遺物語「児のそら寝」	5	⑨	11月30日			
12								
1	3	「冬が来た」	6	④	1月18日			
2	3	後期試験対策						
3	3	一年のまとめ						

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	ペット・アートコース	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
公民	公共	2	2	高柳 学			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
公共		東京書籍	公共	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	③④⑤⑥⑬⑭	面接時数	全実施時間数	時間	
	報告課題集				標準面接時数	2 時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平常点20点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	80%						
指導目標							
人間と社会について様々な角度から考察し、現代社会に主体的に生きる力を養う。 ①先哲の思想や政治・経済のしくみを理解し、学んだことを利用できる力をつける。 ②現代の諸問題について、事実に基づきとらえ公正に判断する力をつける。 ③日常起きている社会の諸問題に関心を持ち、自分自身の問題としてとらえる力をつける。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	・社会的な関係の中で生きる人間 ・功利主義と幸福の原理 ・義務論と公正の原理 ・生命倫理について考える ・環境倫理について考える	1	③	5月19日		
5	3	人間としての在り方生き方の探求―先哲の思想に学ぶ― ・哲学と人間としての在り方生き方 ・近代科学の考え方 ・民主社会と自由を求めて					
6	3	・民主主義とは ・立憲主義とは	2	④	6月23日		
7	3	・人権保障の意義と展開 ・日本国憲法の基本原理	3	⑤	7月14日		
9	3	・民主政治と政治参加 ・法と社会規範の役割 ・市民生活と法 ・司法のしくみと役割	4	⑥	9月29日		
10	3	・現代の経済と市場 ・市場経済における金融の働き ・財政の役割と働き、課題 ・社会保障の考え方と課題	5	⑬	10月27日		
11	3	・働くことの意義と職業選択 ・労働者の権利と雇用・労働問題					
12	3	・国際社会のルールとしくみ ・国際連合の役割 ・日本の平和主義と冷戦	6	⑭	12月8日		
1	1	国際平和への課題 ・現代の紛争とその影響 ・平和な国際社会に向けて					
2	2	・貿易のしくみ ・国際金融のしくみと動向 ・グローバル化と今日の国際経済					
3	1	・国際経済の諸課題					

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	ペット・アート	学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
地理・歴史	歴史総合	2	2	高柳 学			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
新歴史総合		第一学習社	新歴史総合	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑤⑥⑧⑪⑫⑬	面接時数	全実施時間数	時間	
	報告課題集				標準面接時数	2 時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平均点20点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	80%						

指導目標							
日本の歴史と各国の歴史がどのように結びつき発展してきたかを考察し、国際社会に主体的・平和的に生きる力を養う。							
①世界各国が様々な形で発展を遂げたことを理解するなかで、日本は各国とどのように関わりながら変遷していったかを考察する。							
②世界各国と日本の歴史の動きのなかで起こったでき事などを事実や背景に基づいて考察し、公正に判断できる力をつける。							
③世界で日々起きているでき事と自分自身とのかかわりに関心を持つ。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	・清がアジアに君臨した ・東アジアは成熟期を迎えた ・イギリスの影響力が世界に及んだ ・アメリカは内乱を経て国民統合を果たした ・清と日本が開港を迫られた	1	⑤	5月19日		
5	4	・清と日本は外圧に対応した ・日本の国境・領土が定まった ・日本も立憲国家となった ・日本は、初の大規模な対外戦争を起こした ・日露戦争に世界が注目した					
6	3	・韓国は植民地となり、清は倒れた ・糸が支えた産業革命 ・何のために学ぶのか	2	⑥	6月23日		
7	3	・全てが戦争に巻き込まれた ・世界は国際協調を模索した ・第一次世界大戦がアジアにもたらしたもの	3	⑧	7月14日		
9	4	・朝鮮・中国の民衆が立ち上がった ・空前の繁栄の光と陰 ・恐慌の嵐が吹き荒れる ・大衆は新たな勢力に期待をかけた	4	⑪	9月29日		
10	3	・日本と中国の対立が深まった ・世界は戦争の道を歩みはじめた ・再び世界大戦がはじまった	5	⑫	10月27日		
11	2	・戦争が終わった ・新しい世界秩序が築かれた	6	⑬	12月8日		
12	3	・日本は連合国に占領された ・冷戦の影響は東アジアにも及んだ					
1	2	・日本は新たな道を歩みはじめた ・アジア・アフリカの国々が独立した					
2	2	・核戦争に危機に世界が恐怖した ・奇跡の高度成長がはじまった					
3	2	・世界を揺るがした二つのショック ・グローバル化の光と陰					

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校		学科	普通科	コース	ペット・アート		学年・年次	3年			
教科	科目		単位数	標準単位数		担当者						
地理・歴史	地理総合		2	2		高柳 学						
教科書名			出版社	学習書		学習期間						
地理総合			帝国書院	地理総合		通年						
レポートの種類	一般レポート 報告課題集		選択レポート	③⑥⑨⑪⑬⑯		面接時数	全実施時間数	時間				
							標準面接時数	2 時間				
定期試験	年間・学期	2回	評定算出方法	試験成績80点・平均点20点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。								
定期試験の評価割合	80%											
指導目標												
私たちの生活の基盤である世界や日本の自然や文化を考察し、グローバル化された今日の世界で主体的に生きる力を養う。												
①世界の諸地域には、その特色を生かした生活や産業をあることを理解し認識を深める。												
②各国は経済成長に伴い大きく生活が変化していることを理解する。												
③社会の発展とともに生み出されてきた様々な問題について認識し、自らがどのように関わっていくのか考察する。												
月	指導時数	単元・学習内容				レポート指導			試験範囲	備考		
						回数	選択 番号	提出日				
4	3	・世界の地形 ・地形と生活 ・日本の地形と生活				1	③	5月7日				
5	3	～世界の気候と生活～ ・熱帯、乾燥帯の人びとの生活 ・温帯、亜寒帯・寒帯の人びとの生活										
6	3	ー東南アジア諸国ー ・モンスーンで影響を受ける地域での生活 ・気候を生かした農業と人びとの生活				2	⑥	6月18日				
7	3	～世界の産業と人びとの生活～ ・人びとの生活を支える農業の発展 ・人びとの生活を支える工業の発展 ・産業のグローバル化と日本				3	⑨	7月16日				
9	3	経済成長による人びとの生活の変化 ー東アジア諸国ー ・経済成長による中国の生活の変化 ・経済成長による韓国の生活の変化				4	⑪	9月24日				
10	3	・世界に大きな影響力を持つ知識産業と資源 ーアメリカ合衆国ー ・EU統合と人びとの生活 ーヨーロッパー				5	⑬	11月12日				
11	3	～地球的課題～ ・相互に関連する地球的課題 ・持続可能な開発目標(SDGs)について ・地球環境問題										
12	3	・日本の自然環境 ・地震、津波と防災									6	⑯
1	2	・資源、エネルギー問題 ・人口問題										
2	2	・食料問題 ・都市、居住問題										

所属	〇〇〇〇〇〇学校	学科	〇〇科	コース	〇〇〇〇〇〇〇〇〇コース	学年・年次	〇年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
公民	公共	2	2	〇〇 〇〇			
月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		

《留意事項》

2023年度 年間教育計画

所属	〇〇〇〇〇〇学校	学科	〇〇科	コース	〇〇〇〇〇〇〇〇コース	学年・年次	〇年
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者		
公民	公共	2	2		〇〇 〇〇		
教科書名		出版社	学習書		学習期間		
公共		東京書籍	公共		通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①④⑧⑪⑮⑰		面接時数	全実施時間数 〇〇 時間	
	報告課題集					標準面接時数 2 時間	
定期試験	年間・学期 〇 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	70%						

指導目標							
人間と社会の在り方についての見方、考え方を働かせ、現代の諸課題について多面的・多角的に考察し、国際社会に主体的・平和的に生きる力を養う。							
①倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。							
②現代の諸問題について、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。							
③社会に生きる大人としての自覚や、公共的な空間に生き日本の将来を担う公民としての自覚を深める。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	6	青年期と自己形成の課題 自己形成と社会への参画 個人として尊重される人間 社会的な存在としての人間 伝統文化の中の人間 現代の世界と宗教	1	①		↑	
5	9	功利主義と幸福の原理 義務論と公正の原理 人間としての在り方生き方の探求－先哲の思想に学ぶ 公共的な空間における協働とは 「囚人のジレンマ」の自発的克服－ゲーム理論と人間行動 民主主義とは 立憲主義とは 人権保障の意義と展開 日本国憲法の基本原理①－日本国憲法と三つの原理			5月15日		
6	10	日本国憲法の基本原理②－基本的人権の保障 男女共同参画社会の実現に向けて 私たちの民主政治 地方自治の仕組みと役割 条例について知ろう 住民投票考える 国会の仕組みと役割 内閣の仕組みと役割 世界の政治体制 政治参加と選挙	2	④			
7	6	政党と利益集団 メディアと世論 法と社会規範の役割 法の成立と適用 市民生活と法 多様な契約	3	⑧			
8	3	消費者の権利と責任 消費生活と契約 司法の仕組みと役割 刑事司法と司法参加の意義			8月10日		

新課程の指導目標は、観点別に目標を設定するようにしてください。

所属	〇〇〇〇〇〇学校	学科	〇〇科	コース	〇〇〇〇〇〇〇〇〇コース	学年・年次	〇年
教科	科目	単位数	標準単位数	担当者			
公民	公共	2	2	〇〇 〇〇			
月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
9	6	私たちと経済 現代の企業 市場経済の仕組み 価格決定のメカニズム 資本主義の歴史と経済思想 国民所得と経済成長	4	⑪		↓	
10	8	戦後日本経済の動き 金融の仕組みと働き 中央銀行の役割と金融環境の変化 進むキャッシュレス社会 金融商品を活用した資産運用 財政の働き 財政の課題 社会保障の考え方			10月15日		
11	8	社会保障の課題とこれから 「人生100年時代」の老後に備える年金制度 働くということ 多様な職業選択 労働者の権利 現代の雇用・労働問題 国際社会の成り立ち 日本の領域と領土をめぐる問題	5	⑮			
					11月30日		
12	4	国際連合の役割 日本の平和主義と冷戦 戦後国際政治の動き 冷戦後の世界と日本					
1	6	現在の紛争とその影響 平和な国際社会に向けて 国境を越えて広がるNGOの活動 貿易の仕組み 国際金融のしくみと動向 戦後国際経済の動き	6	⑯			
2	5	グローバル化と今日の国際経済 国際経済の諸課題 SDGsの達成に向けて 学年末試験対策 学年末試験対策			1月31日	↓	
3	3	試験結果の検証と復習 まとめ まとめ					

《留意事項》

年度 学習指導計画(連携科目)

所 属										
学 科				コース				学年・年次		
科目名			単位数		教科書				出版社	
月	指 導 内 容							指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容						h		
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
1										
2										
3										

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	F・P・Aコース	学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
芸術	美術Ⅱ	2	2	鳥谷 浩祐			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
美術2 美Ⅱ 701		光村図書		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	6,3,5,1,2,4	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	8時間	
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	観点①、②、③をそれぞれ1/3づつ、合計したものを10割とし、総合的な評価とする				
定期試験の評価割合							
指導目標							
(1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	1	オリエンテーション「美術とは何か」 美術Ⅰの学習を振り返り、美術Ⅱのイメージを持ち、美術の学びの深まりと意味について レポート①「細密に描く」 ・静物(貝殻)を描く	1	①	5月31日		
5	4	・光と影の表現 観察し、追及する レポート②「色彩表現」 ・風景、人物等の写真を元に色彩表現	2	②	6月30日		
6		・心の中の風景					
7	4	レポート③「グラフィックデザイン」 ・抽象への誘い 視覚伝達の観点 ・素材と向き合う 不思議な空間を作る	3	③	9月10日		
9	4	デザインレポート④「ストーリーとデザイン」 ・トータルデザインを考える 工夫し、創作する	4	④	10月31日		
10		・制限を設定し、制限に沿った制作をする ・問題解決のためのデザイン					
11		映像メディア表現 レポート⑤映像メディア表現 「資料 アニメーションの歴史」	5	⑤	11月31日		
12		・絵コンテによる計画					
		・場面の設定 人物の表現	6	⑥	1月31日		
1		レポート⑥鑑賞「水の表現」					
2		・表現方法					
		・表現についての資料を用いる					
3		「資料 絵に隠された謎を読み解く」 鑑賞学習					

令和8年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校						
学 科	色彩		コース	A・Pコース		学年・年次	2年
科目名	色彩	単位数	1	教科書	検定公式テキスト	出版社	色彩検定1株式会社学研プラス

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4	70～83	色彩調和-色相配色	3		
5	84～95	色彩調和-トーン配色 アクセントカラー	3		
6	96～97	色彩調和-セパレーションカラー グラデーション 色彩調和-配色しらべプリント	4		
7	04～10	1	2		
8		（夏期休暇）			
9	72～80	パーソナルカラーとは パーソナルカラー4シーズン	3	1	
10		パーソナルカラー-4シーズンマップ	4		
11		パーソナルカラー-4シーズンマップ	5		
12		演習問題プリント	2		
1		（冬期休暇）	2		
2		パーソナルカラードレッシング実習	3	1	
3		パーソナルカラードレッシング実習	1		

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校							
学 科	色彩		コース	A・Pコース		学年・年次	1年	
科目名	色彩	単位数	1	教科書	検定公式テキスト	出版社	色彩検定協会	
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				h		
4	32～42	色の三属性 色相環 トーン				3		
5		色の表示 PCCS 色立体				3		
	10～18	光と色 スペクトル						
6	24～25	光の現象 混色 加法混色と減法混色				4		
7		演習問題				2		
8		(夏期休暇)						
9	50～53	色彩心理 寒暖感～興奮色沈静色				3	1	
10	55～57	色の連想と象徴				4		
	58～65	色の対比と同化						
11	66～67	面積効果 主観色				5		
12		練習問題プリント 色名しらべ				2		
1		(冬期休暇)				2		
2		色相環と トーン 三原色で作成				3		
3		色相環とトーン 三原色で作成				1		

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	P・Aコース	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
英語	英語コミュニケーション1	2	2	森田加寿子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
All Aboard English Communication		TOKYO SHOSEKI	英語	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③④⑤⑥	面接時数	全実施時間数35時間 標準面接時数 8時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点平常点20点を満点とした総合成績に基づき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	80%						
指導目標							
1ー英語力の基礎を確実に身につけ、英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 2ー世界に日本の良さを発信できる伝統や文化を英語の題材を通して知る。 3ー言葉として英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意して、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	Pre—Lesson1 My Name Is Ito Neko. Pre-Lesson2 I Like Junk Food!					
5	5	Lesson1 Breakfas around theWorld.					
			1	①	5月22日		
6	4	Lesson2 Australia’s Cute Quokkas					
			2	②	6月12日		
7	2	GrammeI Review Lesson3 A Train Driver in Sanriku					
			3	③	7月10日		
9	3	Lesson3 A Train Driver in Sanriku					
10	3	Communication2 Lesson4 A Miracle Mirror					
			4	④	10月23日		

11	3	Lesson5 Learning from the Sea	To be able to talk in English about your future dream. Talk about something . you enjoy last week . Gerunds As the object etc.of a verb. Appearing after a preposition.	5	⑤	11月13日		
12	3	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	To be able to talk in English about a picture you like.	6	⑥	12月11日		
1	3	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	Explain a passive action, focusing on the person or thing involved. The Passive Voice. When using "by". When not using "by"					
2	3	How to Write an E mail in English Extra Target	How to write. Guess Who? Quiz					
3	2	Let's Listen	Listening Speaking					

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	P・Aコース	学年・年次
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者		
英語	英語コミュニケーション1	2	2	森田加寿子		
教科書名		出版社	学習書	学習期間		
英語		TOKYO SHOSEKI	英語	通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑥⑦⑧⑨⑩⑥	面接時数	全実施時間数35時間	
	報告課題集				標準面接時数 8時間	
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点、平常点20点を満点とした総合成績に基づき、単位に従って算出する。			
定期試験の評価割合	80%					
指導目標						
1ー英語力の基礎を確実に身につけ、英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 2ー世界に日本の良さを発信できる伝統や文 る。 3ー言葉として英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意して、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な力を養う。						

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲
			回数	選択 番号	提出日	
4	3	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period To be able to talk in English about a picture you like. Explain a passive action/si'ation focusing on the person or thing involved. The Passive Voice ,When using 'by' ,When not using 'by'	1	⑥	4月24日	
5	5	Lesson 7 A Diary of Hope To be able to talk in English about a peon you are interested in. Make a comparison between two or more things. Comparative form, Superlative form,Base form	2	⑦	5月22日	
6	4	Lesson 8 A Door to a New Life. To be able to recommnd in English an idea on how bots can make our lives better. Speak about something you have experienced. The present Perfect Tence Something done before ,Something oontinuing to the present,Haviing just finished	3	⑧	6月19日	
7	2	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution To be able to describe something you can do in English to protect the environment. Add an explanation about something 'happening /t happened to a person or thing.	4	⑨	7月14日	
9	3	Lesson9 _____ Particles That Follow and Describe No ,Present Particles, Past Particles.				
10	3	Lesson 10 To be able to talk in English about activities that deepen understanding of foreign cultures and societ . Add an explanation about a person and thing. Relative Pronounce ; who, which	5	⑩	10月23日	
11	3	Reading 2 The Wizard of Oz Read Out with Feeling ,	6	⑥	11月27日	
12	3	Over the Rainbow Extra Target 3				
1	3	Grammar Review 4 Tool box Plus				
2	3	Hit the Target! Good at skilled in the target students l ned in the each Pre-Lesson and Lesson from 6 to 10				
3	2	Be free to talk				

2025年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	P・Aコース	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
芸 術	美術 I	2	2	飯田 邦彦			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
美術 I		光村図書		通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑨⑧⑤⑦②④	面接時数	全実施時間数 35時間		
	報告課題集				標準面接時数 8時間		
定期試験	年間・学期 0 回	評定算出方法	レポート作品を70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	0%						
指導目標							
美術の幅広い制作活動を通して、日々の生活にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。 ①造形的な視点について理解を深めるとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 ②美しさ、意図と工夫、美術の働きなどについて考え、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ③創造活動に取り組み、り美術を愛好する心情を育み、感性を高め文化に親しみ、社会を創造していく心を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択 番号	提出日		
4	8	模写 西洋・日本美術の時代、文化を理解し作品の理解を深める。 模写することにより、作品の描いた作者の思いを体感する。	1	⑥	5月31日		
5							
6	7	色彩応用表現 実際の風景・・実際の風景を見ながら写生する。 遠近法を理解する。幾何学遠近法、空気遠近法を理解し、遠景を描き方を学習する。 水彩の技法を理解し、混色について学習する。	2	③	8月31日		
7							
8							
9	6	デザイン オリジナルTシャツのデザイン 「伝える」ためのデザインを思考する。 レタリングの技術を学習する。可読性、視認性や美しさを考える。 省略や簡略化した図案。着てみたいと思える図案とは何かを考える。	3	⑤	10月6日		
10	6	デザイン構成 1～6の数字という記号にどのような形を持たせることができるかを思考する。 数が増える、減るという流れの中で、観た人にどのような想像をさせることができるかを考える。 サイコロという機能を考え、どのように数字を相手に伝えられるかを考える。	4	①	11月30日		
11							
12	6	デッサン 身の回りにある物を対象に、静物をデッサンする。 鉛筆の硬さや動き、強さなど理解し、様々な表現を試みる。 立体的に表現をするために必要な、遠近法や陰影の作りを学ぶ。 コントラストを理解し、白、グレー、黒の明度差をどのように作り出すかを理解する。	5	②	1月31日		
1	6	絵画構成(コラージュ) コラージュを使い「建築物」をつくる。 パブロ・ピカソやジョルジュ・ブラック、ルネ・マグリット、横尾忠則などを紹介し、コラージュの成り立ちを学習する。 自由な発想で、身の回りのものから素材を見つけだす。 組み合わせた物から、どのような以外性が見つかるか試作する。	6	④	2月22日		
2							
3	2	キャンディーボックス 与えられたキャンディーボックスの展開図に、図案を描き着色する。 プレゼントを目的とした箱を意識し、目的に沿ったデザインを考える。 色彩理論、配色調和を考え、美しい配色を考える。					

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト	コース	P,A	学年・年次	1
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
理科	科学と人間生活	1	2	丹羽 世喜子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
科学と人間生活		第一学習社	ネオパルノート	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③④⑤⑥	面接時数	全実施時間数33時間 標準面接時数 8時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。□ □				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
理科とは、観察や実験の結果にもとづいて、自然界のさまざまな事物や現象にひそむ因果関係を解き明かすものである。 ①自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能。 ②科学的に探究する力 ③科学的に探究しようとする態度							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	物質を科学する 材料とその利用 プラスチックの構造、性質、用途、 3R 金属の構造、性質、用途、	1	①	4月30日		
5	3	衣料と食品 繊維（天然繊維と化学繊維）の構造と染色 生命を科学する タンパク質、遺伝子とDNA、血糖濃度、病原体の排除、ヒトの視覚と光 身近な微生物 微生物の発見					
6	5	生態系内の微生物 食品と微生物 医薬品と微生物 微生物の利用の広がり 温度と熱運動 熱容量と比熱	2	②	5月21日		
7	2	熱の伝わり方 仕事や電流と熱の発生 エネルギーの移り変わり エネルギー資源の有効活用					
8							
9	4	光の発生と速さ 光の反射・屈折 光の分散 光の発生と速さ 光の散乱	3	③	7月2日		
10	3	光の回折・干渉・偏光 電磁波の種類とその利用、どんな用途があるか	4	④	10月2日		
11	2	日本列島のなりたちはどうか 火山活動と地表の変化 日本の活火山にはどんなものがあるか	5	⑤	11月5日		
12	3	太陽と太陽系 いつごろ誕生し、どんな構成に決まっているか 太陽系を構成する天体 太陽と人間生活					
1	2	天体の動き 太陽と月の動き 太陽の動きと太陽暦	6	⑥	12月19日		
2	3	火山災害と防災 地震活動と地表の変化					
3	2	火山活動と防災 水のはたらきと地表の変化 気象災害と防災					

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト	コース	P,A	学年・年次	3
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
理科	生物基礎	1	2	丹羽 世喜子			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
生物基礎		第一学習社	ネオパルノート	通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	①②③④⑤⑥	面接時数	全実施時間数28時間 標準面接時数 8時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 2 回	評定算出方法	試験成績70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。□ □				
定期試験の評価割合	70%						
指導目標							
理科とは、観察や実験の結果にもとづいて、自然界のさまざまな事物や現象にひそむ因果関係を解き明かすものである。 ①自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能。 ②科学的に探究する力 ③科学的に探究しようとする態度							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	3	1. 生物の特徴 ①生物にみられる共通性 ②生物の共通性の由来 ③細胞構造の共通性					
5	4	2. 生物とエネルギー ①エネルギーと代謝 ②代謝とATP ③代謝と酵素 ④光合成と呼吸 葉緑体とミトコンドリアの起源 細胞共生説	1		4月30日		
6	4	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝情報とDNA ①染色体・DNA・遺伝子 ②DNAの構造 DNAの塩基どうしの結合の特徴を考える ③DNAの複製 DNA模型を用いた半保存的複製の再現 ④DNAの分配 DNAの倍加、細胞周期とは何か	2		5月28日		
7	3	2. 遺伝情報とタンパク質の合成 ①タンパク質の構造と働き ②遺伝子の発現とタンパク質合成 DNAの塩基配列とアミノ酸配列 遺伝情報の流れ RNAの構造と種類 タンパク質合成のしくみ 遺伝暗号	3		7月2日		
8							
9	3	④細胞と遺伝子の働き ゲノムと遺伝子 細胞の分化と遺伝情報 第3章 ヒトのからだの調節 ①恒常性と情報の伝達 体内環境と情報の伝達 ②神経系	4		9月24日		
10	5	③自律神経系の働き ④ホルモンの働き ⑤血糖濃度の調節 血糖濃度のしくみを考える ⑥体温の調節 ⑦からだの調節と血液の働き					
11	3	2. 免疫 ①病原体からからだを守るしくみ ②自然免疫 ③獲得免疫のしくみ ④獲得免疫の特徴 病原体の侵入と交代量	5		10月22日		
12	1	⑤免疫と疾病 免疫反応の異常による病気	6		12月3日		
1	2	⑥免疫と医療 感染症の予防と治療					
2	0						
3	0						

2026年度

年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科		コース		学年・年次	3年
教 科	科 目	単位数	標準単位数		担当者		
保健体育	保健	1	1		前田 節夫		
教科書名		出版社	学習書		学習期間		
現代高等保健体育		大修館	現代高等保健体育		通年		
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	⑦⑧⑨		面接時数	全実施時間数	12時間
	報告課題集					標準面接時数	1時間
定期試験	年間 ・ 学期 2 回	評定算出方法	試験成績80点・平常点20点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	80%						
指導目標							
現代社会と健康について考察し、現代の諸課題について、多面的・多角的に健康で生きる力を養う。							
①健康と家庭の健康問題について考察できる能力を身につける。							
②高齢社会の課題を理解するとともに健康との取り組み方を考察し適切に判断する力を養う。							
③環境問題の健康への影響と環境対策について、自覚するとともに実践できる能力を身につける。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
5	2	・ ライフステージと健康 ・ 思春期と健康 ・ 性意識と性行動の選択 ・ 妊娠・出産と健康 ・ 避妊法と人工妊娠中絶 ・ 結婚生活と健康	1	⑦	5月14日	↑	
6	2	・ 中高年期と健康 ・ 働くことと健康 ・ 動労災害と健康 ・ 健康的な職業生活	1	⑧	6月25日	↓	
9	3	・ 前期考査対策（復習） ・ 前期考査				↑	
10	2	・ 大気汚染と健康 ・ 水質汚濁・土壌汚染と健康 ・ 環境と健康にかかわる対策 ・ ゴミ処理と上下水道の整備	1	⑨	10月15日	↑	
12	2	・ 健康被害の防止と環境対策 ・ 後期考査対策（復習）				↓	
1	1	・ 後期考査					

2026年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校 渡邊 知恵子						
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション、ペットビューティー		学年・年次	1年	
科目名	文書処理	単位数	2	教科書	日本情報処理検定協会問題集	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容	指導時数 h	試 験	備 考
	項 目・内 容			
4	「日本語ワープロ」(Wordソフト)の基礎 ローマ字入力や書式設定について概要を説明 USBの補助メモリーの取り扱い等説明、保存の習慣化	3		
5	Webタイピングソフトを使用したタッチオペレーション 入力練習(10分速度計測) 文字数は記入させ日々の上達を実感させる	4		
6	日本語ワープロ検定試験に向けての演習 ビジネス文書を、検定の配置基準に沿って、指導 問題集1～12	4		
7	検定試験 日本語ワープロ4級に挑戦させる レベルの高い生徒は3級に挑戦	3	検定試験	
8				
9	前期試験に向けて 表作成、編集を指導 前期試験の範囲である日本語ワープロ3級の練習	4	前期試験	
10	入力速度向上に向けて、ホームポジションの徹底 次回検定に向けて指導	4		
11	「表計算」(Excelソフト)の基礎 Excelソフトを使用して、セルの入力・編集・簡単な計算式・関数などを指導	4		
12	検定試験 表計算4級に挑戦させる 特に減点箇所に注意を払い、指導	3	検定試験	
1	IF関数、切り上げ・切り捨て関数などや並べ替えを指導	2		
2	後期試験 後期試験の範囲であるExcel3級問題をオリジナルプリントを参考にしながら指導	2	後期試験	
3	2年生に向けて 日本語ワープロ・表計算の2級範囲を問題集に沿って指導	2		

《留意事項》

2026年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校 渡邊 知恵子						
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション、ペットビューティー		学年・年次	2年	
科目名	文書処理	単位数	2	教科書	日本情報処理検定協会問題集	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容	指導時数 h	試 験	備 考
	項 目・内 容			
4	「文書デザイン」(Wordソフト使用)演習 Wordソフトを使用して表、イラスト含めたパンフレットを作成できる様指導	3		
5	図形描写・画像の挿入・表作成・文字装飾・レイアウトの指導	4		
6	文書デザイン検定試験に向けての演習 文書デザイン検定4・3級問題集1～12 検定の配置基準、減点箇所を注意を払い演習させる	4		
7	検定試験 文書デザイン3級に挑戦させる レベルの到達していない生徒は、4級の問題集に挑戦させる	3	検定試験	
8				
9	前期試験に向けて 前期試験の範囲である文書デザイン3級の完成度を上げる 3級合格者、レベルの高い生徒には2級を指導	4	前期試験	
10	文書デザイン3級の不合格者は苦手部分を克服させ、次回検定に向けて指導 合格者は2級に挑戦させる	4		
11	「プレゼンテーション」(PowerPointソフト)の基礎 PowerPointソフトの基本を押さえながらマルチメディアを利用した効果的なスライド作成ができる様指導	4		
12	検定試験 レベルの達している生徒はプレゼンテーション検定4級・3級に挑戦させる	3	検定試験	
1	プレゼンテーション検定3級に向けての演習 問題集1～12 検定の配置基準、減点箇所を注意を払い演習させる	2		
2	後期試験に向けて 後期試験の範囲であるプレゼンテーション3級問題を時間内に処理できるように練習する 今年度まだ検定合格できていない生徒もできるだけ一つは取得できるよう奮起を促す	2	後期試験	
3	3年生に向けて 文書デザイン・プレゼンテーション2級を問題集に沿って指導	2		

《留意事項》

2026年度 学習指導計画（連携科目）

所 属	サンデザイン専門学校 渡邊 知恵子						
学 科	クリエイト科	コース	ペットビューティー			学年・年次	3年
科目名	文書処理	単位数	2	教科書	日本情報処理検定協会問題集	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容	指導時数 h	試 験	備 考
	項 目・内 容			
4	検定科目、「日本語ワープロ」「文書デザイン」「情報処理」「プレゼンテーション」「ホームページ作成」「スピード検定日本語・英文」の中から各自選択させ、検定合格に向けて奮起を促す	3		
5	検定試験に向けての演習 各自選択させた検定科目・級に応じて個別指導 毎時間実施したデータを共有に提出させ課題点とする	4		
6	検定試験に向けての演習 特に減点箇所注意を払い、指導 7月の検定試験に向けて、完成度を上げる	4		
7	検定試験 各自選択した検定に挑戦させる レベルの到達していない生徒は、次回の検定日に目標を合わせ奮起させる	3	検定試験	
8				
9	前期試験に向けて 提出された課題をチェックし、各自選択した検定科目・各級の完成度を上げる	4	前期試験	
10	検定試験・後期科目・級選択 7月検定の不合格者は再度同級を挑戦。合格者はレベルを上げて挑戦させる 検定後、後期科目・級を選択させ、後期の検定に向けて指導	4		
11	後期試験・検定試験に向けて 今年度まだ合格できていない生徒もできるだけ一つは取得できる様促す	4		
12	検定試験 各自の選択した検定に挑戦させる	3	検定試験	
1	後期試験 各自自己申告した検定科目・級を受験	2	後期試験	
2	卒業課題 3年間使用したアプリケーションソフト（Word,Excel,PowerPoint）を利用して、それぞれのソフトをリンクさせた卒業課題に取り組む	2		卒業課題
3				

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校 渡邊 知恵子						
学 科	クリエイト科	コース	アート&プロモーション			学年・年次	3年
科目名	情報処理	単位数	2	教科書	日本情報処理検定協会問題集	出版社	日本情報処理検定協会

月	指 導 内 容	指導時数 h	試 験	備 考
	項 目・内 容			
4	1年時実施したExcelを復習しながら、入力・編集・セルの書式・四則演算・よく使う関数の基礎を徹底する	3		
5	Excel関数 準2級以上に出題される切り上げ・切り捨て関数、IF、VLOOKUP関数をポイントとなるオリジナルプリントに沿って指導する	4		
6	Excelグラフ作成 統計データに沿っていろんなグラフを作成させ、グラフを用いることでデータの傾向を視覚的に捉えることができることを認識させる	4		
7	検定試験 各自選択した情報処理検定級に挑戦させる レベルの到達していない生徒は、次回の検定日に目標を合わせ奮起させる	3	検定試験	
8				
9	前期試験に向けて 前期試験の範囲となる情報処理検定2級レベル問題を演習する 提出された課題をチェックし、弱点克服し完成度を上げる	4	前期試験	
10	応用関数 情報処理検定準1級以上に出題されるDSUM・DAVERAGE・DCOUNT関数をポイントとなるオリジナルプリントに沿って指導する	4		
11	データベース 並べ替え・フィルタ・ピボットテーブルなど3D分析を指導	4		
12	検定試験 各自選択した情報処理検定級に挑戦させる	3	検定試験	
1	後期試験に向けて 試験範囲であるExcel上級レベル問題にTRY！させ完成度を上げる	2	後期試験	
2	卒業課題 Excelを使って、総務省のデータベースよりデータをダウンロードし、それぞれのデータに合ったグラフも作成させ卒業課題として提出	2		卒業課題
3				

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	普通科	コース	P・F・A	学年・年次	1年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探求の時間	総合的な探求の時間	1	1	近藤トシ江			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート		面接時数	全実施時間数34時間 標準面接時数 2時間		
	報告課題集						
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	テーマに基づいたレポート内容70点・平常点30点を満点とした総合成績にもとづき、単位認定基準で定める得点区分に従って算出する。				
定期試験の評価割合	0%						

指導目標							
探究の見方や考え方を働かせて、課題を解決していくための資質や能力を育成すること							
①各自決めたレポートのテーマについて理解するとともに、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。							
②団体行事を通じて進行方法、発見等を促し、事実をもとに多面的・多角的に考察し判断する力を養う。							
③社会に生きる大人としての自覚を深め、自らの意思で物事に取り組むことができる力を養う。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	学外研修オリエンテーション・調べ学習・参加	1				
5	2	生活体験発表会に向けた作文					
6	4	総合的な学習の時間テーマ決め、学習の進行方法、学習の進行					
7	2	スポーツレクリエーションⅠ 要綱説明・夏休みの過ごし方					
8							
9	2	総合的な学習の時間テーマ決め、学習の進行方法、学習の進行	1		9月30日		
10	4	スポーツレクリエーションⅡ 要綱説明・練習					
11	4						
12	2	総合的な学習の研究、レポート作成	2				
1	6	ファッションショー参加または見学学習					
2	2	総合的な学習の研究、レポート作成	2		3月1日		
3	2						

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校				亀田 佳保里		
学 科	クリエイト科	コース	フラワー			学年・年次	2
科目名	課題研究	単位数	3	教科書	プリント	出版社	

月	指 導 内 容		指導時数 h	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容			
4		花について知ろう 花の名前や姿について学習	9		
5		アニマルアレンジメント アレンジメントの基礎、造花で動物のかたちを作る方法を学ぶ	9		
6		オリジナルフラワーリース リースのデザインを考える リースをデコレーションする方法を学ぶ	37		
7					
8					
9					
10		フラワーボード シチュエーションにあったデザインを考える デザインにあった花材や資材選びができる力を身につける	12		
11					
12		フラワードレス テーマを決め、テーマにあったドレスのかたちを学ぶ トルソーに飾ることができるようにデザインを考え、花材を選ぶ ドレス装飾の方法を学ぶ	37		
1					
2					
3		ブーケ制作 花束の基礎を学ぶ	6		

《留意事項》

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校								
学 科	クリエイト		コース	P・A		学年・年次	2年		
科目名	課題研究	単位数	3	教科書		出版社			
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考	
	ページ	項 目・内 容				110h			
4		オリジナルデザインピンクッション・'個人別作品製作計画					6		
5		オリジナルデザインピンクッション(丸形)					15		
6		オリジナル作品製作					34		
7									
8									
9									
10		オリジナルデザインチャーム製作・'個人別作品製作計画					25		
11		オリジナルデザインチャーム製作・作品展ディスプレイ計画							
12		個人別作品製作					30		
1									
2									
3									

《留意事項》

2026年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校					記入者名	飯田 邦彦	
学 科	クリエイト科		コース	Aコース		学年・年次	2	
科目名	課題研究2	単位数	3	教科書		出版社		
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				h		
4		イラスト制作 1 人物、動物、植物、風景などを水彩絵の具を使い、イラストを制作する。 水彩絵具の使い方、水張りの方法などを修得する。 遠近法、デッサン等イラストに必要な絵画技術を学ぶ。 配色技法を学び、イメージに合った、配色を考える。				55		
5								
6								
7								
8								
9								
10		イラスト制作 2 描いたイラストを基に、CGを使ってトートバッグやTシャツに印刷してみる。 描いたイラストをもとにデジタルによって、編集や加工することを学び、「デザイン」について考える。 フォントや構図を学び、基本的なデザインの技術を学ぶ。 デザインに必要な、アプリケーションの基本的な操作を学ぶ。				55		
11								
12								
1								
2								
3								

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	F・P・Aコース	学年・年次	2年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探求の時間	総合的な探求の時間	1	1	鳥谷 浩祐			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1, 2	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	2時間	
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	観点①、②、③をそれぞれ1/3づつ、合計したものを10割とし、総合的な評価とする				
定期試験の評価割合							
指導目標							
(1) 学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けている探究することの意義や価値を理解している (2) 実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめている。 (3) 主体的・協働的(協同的)に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	オリエンテーション 総合的な探求の時間レポート第1回「テーマ決め」提出					
5	4	生活体験作文「生活体験発表会に向けた作文 進路について 進学・就職に関するガイダンス					
6	4	・スポーツレクリエーション大会 I 要綱説明 行事関連の練習、決め事等	1		6月30日		テーマ
7	4						
9	4	・スポーツレクリエーション大会 I 要綱説明 行事関連の練習、決め事等					
10	4	研修旅行について					
11	6	総合的な探求の時間課題進行 ・調べ学習 ・制作学習 ・体験学習					
12	4						
1	2		2				提出
2	2						
3	2	総括					

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校					亀田 佳保里		
学 科	クリエイト科		コース	フラワー		学年・年次	3	
科目名	課題研究	単位数	3	教科書	プリント	出版社		
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考
	ページ	項 目・内 容				h		
4		フラワーディスプレイ 『不思議の国のアリス』をテーマに花を使用したディスプレイを制作 大きなディスプレイを協力して制作する過程や装花の技術を学ぶ				55		
5								
6								
7								
8								
9								
10		オリジナル作品 学んだ装花の技術を取り入れた、オリジナル作品のデザイン・制作				46		
11								
12								
1								
2		バルーンフラワー 風船を使用した花束の作り方を学ぶ				9		
3								

《留意事項》

2026年度 年間教育計画

所属	サンデザイン専門学校	学科	クリエイト科	コース	F・P・Aコース	学年・年次	3年
教 科	科 目	単位数	標準単位数	担当者			
総合的な探求の時間	総合的な探求の時間	2	2	飯田 邦彦			
教科書名		出版社	学習書	学習期間			
				通年			
レポートの種類	一般レポート	選択レポート	1, 2	面接時数	全実施時間数	35時間	
	報告課題集				標準面接時数	2時間	
定期試験	年間・学期 回	評定算出方法	観点①、②、③をそれぞれ1/3づつ、合計したものを10割とし、総合的な評価とする				
定期試験の評価割合							
指導目標							
(1) 学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けている探究することの意義や価値を理解している (2) 実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめている。 (3) 主体的・協働的(協同的)に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている。							

月	指導時数	単元・学習内容	レポート指導			試験範囲	備考
			回数	選択番号	提出日		
4	4	総合的な探求の時間オリエンテーション	2				
		総合的な探求の時間レポート第1回「テーマ決め」提出	2				
5	4	生活体験作文「生活体験発表会に向けた作文 進路について 進学・就職に関するガイダンス	6				
6		・スポーツレクリエーション大会 I 要綱説明 行事関連の練習、決め事等	2		6月30日		テーマ
7	4						
9	4	・スポーツレクリエーション大会 I 要綱説明 行事関連の練習、決め事等	6				
10		総合的な探求の時間課題進行 ・調べ学習 ・制作学習 ・体験学習	13				
11							
12							
1		ファッションショー参加、見学学習	2		12月10日		提出
2		総括	2				
3							

令和8年度 学習指導計画(連携科目)

所 属	サンデザイン専門学校								
学 科	クリエイト		コース	P・A		学年・年次	3年		
科目名	課題研究	単位数	3	教科書		出版社			
月	指 導 内 容					指導時数	試 験	備 考	
	ページ	項 目・内 容				110h			
4		オリジナルデザインピンクッション・'個人別作品製作計画					6		
5		オリジナルデザインピンクッション(箱型)					15		
6		オリジナル作品製作					34		
7									
8									
9									
10		オリジナルデザインチャーム製作・'個人別作品製作計画					25		
11		オリジナルデザインチャーム製作・作品展ディスプレイ計画(エコバッグ)							
12		個人別作品製作					30		
1									
2									
3									

《留意事項》
